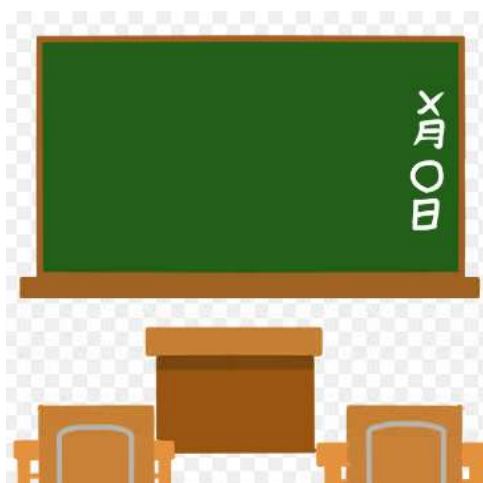




学力向上のための「8つの教育施策」について



平成30年12月

海老名市教育委員会



1

少人数学級・少人数指導のための教員を配置します

ひとりひとり子どもの学力に応じたきめ細かな指導を目的として、市費で非常勤教員を配置して、35人以下の学級や少人数での学習指導を行っています。



他市に先駆けて、平成17年度からスタートし、平成30年度は市費で小学校4名、中学校2名の非常勤教員を配置しています。

平成30年度予算
1,735万4千円

2

補助指導員を配置します

個別の学習支援が必要な子どものために、市費で教員資格を持つ指導員を配置しています。



平成23年度から、小中学校全19校に各校1名の指導員を配置して、子どもの特性や学力に応じた、個別の学習支援を行っています。

平成30年度は、小学校383名、中学校90名の子どもの支援を行っています。

平成30年度予算
3,216万8千円

3

教員の研修・研究を推進します

教員の指導力を高めるために、指導法講座などの研修会を開催しています。また、各学校での校内研究会をサポートしています。



毎年、小学校2校、中学校1校を研究校に指定し、研究の成果を次の年に「ひびきあう教育研究発表大会」で報告しています。

平成30年度の研究校は、有鹿小学校、今泉小学校、今泉中学校です。

平成30年度予算
1,626万2千円

4

ICT活用教育を推進します

わかりやすく楽しい授業を展開するために、ICT機器を活用した教育を進めています。



各学校に、学習用パソコン、大型テレビ、教室天井吊下げプロジェクタなどのICT機器を整備し、活用しています。

平成30年度は、全小学校にタブレット型パソコンを導入し、全中学校3年生の教室に電子黒板機能付きプロジェクタを設置しました。

平成30年度予算
2億2,730万3千円

5

授業の改善に取り組んでいます

平成30年度より、重点施策として「授業改善」を掲げ
全教員で「よりよい授業づくり」に取り組んでいます。



学習指導要領の全面実施にむけて、「主体的・対話的で深い学
び」の視点に立った授業改善を行っています。

平成30年度は、文部科学省視学委員を小学校3校に招き、
授業改善にむけた実践的な取組も実施しています。

平成30年度予算
48万0千円

6

「学校応援団」による学校支援を進めています

平成27年度より、小学校に「学校応援団」を設置し、
地域の方々の力により子どもと学校を支援する取組を進め
ています。



「学校応援団」では、学校の授業や行事の支援、学校環境の
整備などを行うとともに、「えびなっ子スクール」や「あそび
っ子クラブ」などの運営を行っています。

平成30年度予算
4,219万9千円

7

学習支援ボランティアを充実します

学習支援ボランティアを募集し、授業での学習支援や「まなびっ子クラブ」を行っています。



これまで、多くの学習支援ボランティアに、子どもや学校を支援していただいています。

平成30年度の派遣回数は、9月末現在で1,015回です。

平成30年度予算
351万5千円

8

小中一貫教育を推進します

平成29年度から全中学校区で、子どもを9年間で指導・支援する「小中一貫教育」に取り組んでいます。



中学校区ごとに共通の目標を定め、その達成にむけて小中学生の交流や教職員の話し合いなどを進めています。

平成30年度は市費で中学校へ6名の非常勤教員を配置しています。

平成30年度予算
33万0千円

